



《でんでんむしの生みの親》(令和4年冬季号)

中野孝之助通信

◎市政の課題を掘り起こし、解決に全力を尽くします!!

ご挨拶

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。ワクチン接種と皆様の不断の努力により、二年続く新型コロナウイルス感染症も昨年末には一息つき、久しぶりにまちに賑わいが戻ってきたように思います。

会えなかった家族に、友人に、仲間によろやく会うことが出来、疲れた心に潤いが広がり、笑顔が戻ってきたように感じました。しかし、オミクロン株にはまだまだ注意が必要なようです。

そんな中、盛岡市の事業で言えば、仮称前潟駅や岩手飯岡駅、そして長らく懸案であった仙北町駅の新築、改築が進むこととなります。盛岡バスセンターや盛岡市動物公園も事業が進み、市役所の新築を含む内丸地区の再開発整備も、いよいよ実現に向けて議論が始まるようしております。

今回のコロナ禍が、時代を一気に推し進めた感があります。時代を先取りした街づくりを進め、将来にわたって市民の皆様が幸せに暮らしていくことが出来るよう、英知を集め、計画を実現していくことが今必要と考えます。

寒い日が続きますが、皆様にとって今年も良い年になりますように、私も市政の発展に全力を尽くしてまいりますので、引き続き変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

市議会一般質問

令和3年6月

① 交通政策について

Q 全国のバス事業者は、コロナ禍の中で大変な思いをしています。市ではどのような情報収集をされ、全国の状況を踏まえて対応をどう考えているのか。

A 岐阜市、熊本市、新潟市などでは、持続可能なバス路線網の構築のため、業者間での共同運行やバス便数の見直しなど、様々な取り組みがなされています。市としては全国事例を参考に取り組んでまいります。

Q このコロナの状況の中で、今何か実施されているもの、準備しているものはあるのか。

A 一定の支援金の給付、地域公共交通網形成計画に盛岡バスセンターの再整備、路線網の見直し、再編、アイシーカードの導入などを位置づけ、取り組むこととしております。

Q 都心循環バスでんでんむしが、黒字路線なのにある日便数が減られるなど、起きかねない。行政がお金も出し、口も出して一緒にバスの運行を考えていくべきではないか。

A 交通事業者さんとよく相談しながら、市としてどういったものを支援するのが良いか、率直にお話をしたいと考えております。

② 都南村合併30周年について

Q 合併30周年を市としてどのように捉えているか。記念事業の内容は何か。

A 30年の歩みを振り返り、都南地域の魅力を内外に発信するとともに、玉山地域を含めた盛岡市全体のまちづ

くりをさらに進めてまいります。記念事業の内容は、記念シンポジウム、伝統芸能の舞台発表、企画展示など検討を進めているところです。

Q 30年は一区切り。大々的に開催したらどうか。地域の方々から何か声は上がっていないか。

A 大ケ生金山の縄文まつりを復活させたいとか、農協さんから全面協力のお話をいただいております。

Q 都南総合支所の玄関口にタイムカプセルがある。合併から37年後に開くとしているが、大々的なお祭りを開催し、30周年の区切りの目玉に、今回開けたらどうか提案する。

A その当時かかわった人々の思い、そこを十分に考えたうえで判断すべきではないかと思えます。

市議会議案質疑

令和3年6月

① 公共施設の水道のコロナ対策について

Q 市の公共施設の水道蛇口をレバー式に交換するのはなぜか。

A 施設の利用者や職員の感染抑制のためのものです。

Q 感染から守る取り組みは大切ですね。今、ワクチンの職域接種が全国的に広がっています。盛岡でもいろいろな業界に進めていくことは考えているか。

A 職域接種は、人数、会場など様々な条件が国から示されています。今対応する予定はありません。

Q 当事者任せではなく、市が音頭をとって職域のワクチン接種を加速させ、市民の安全性を高めていくことが必要と考える。市役所は実施しないのか。

A 一般市民にまだ広く接種ができていない中で、市職員が先行して接種する予定はありません。

Q 考えが逆だと思う。東日本大震災の時、役所が機能不全に陥った。国からの物資が行き渡らない、支援金が配分できないなど、社会的な活動が全部ストップした。役所は機能を維持する責任があるのではないか。

A もっともお話だとは思いますが。社会全体の要請を踏まえながら、第一線で危機管理を担う職種であることを自覚し、ワクチン接種の順番については検討させていただきます。

令和3年9月

① 史跡盛岡城址歴史的建造物復元整備資料調査事業について

Q この事業の中身と補正予算を組んだ理由は何か。

A 史跡盛岡城跡整備基本計画に基づき、復元整備に向けて取り組んでいます。復元のための史資料の調査として、建設に携わった大工職人の末裔をたどり、資料捜索を行います。これを新たに早急に進めることから、予算をお願いするものです。

Q 国のお城の復元への考え方、法律の中身、いわゆる復元へのハードルは何か。

A 復元に当たっては、当時の設計図や絵画、写真等良質な資料が必要とされています。法律では、史跡の現状を変更するためには、文化庁長官の許可を受ける必要があります。

Q 今現在の調査の進捗状況は。

A 南部家関係者等の各種調査の実施。近世研究者や関係団体の協力を依頼し、大工職人等の家系調査や墓所調査を行っています。

Q これまでの調査開始からだいぶ時間が経っている。どうすれば復元が可能か。

A 現在直接的な証拠として、盛岡城の写真が1枚あります。しかし、資料としては絶対的に不足しています。学術的な調査を尽くし、文化庁と協議をしていくことが必要だと考えております。

Q 今後の着地点を決めて、写真から推測される図面を起こすなど、頑張してほしい。市長の決意は。

A まちを造ってきたお城の役割は、非常に大きい。観光資源の部分も含めて、国のほうも復元の考え方が柔軟になり、一歩前進したととらえている。この機会を逃さず、全力で取り組んで行きたいと思っております。

活動報告



自衛隊岩手駐屯地開設64周年記念事業
2021.07.09



自民党岩手県連への市要望
2021.08.15



人口減少問題について市との意見交換会
2021.10.01



新型コロナウイルス感染症対策の要望
2021.10.01



第19代首相原敬101回忌追悼会
2021.11.05



護国神社清掃奉仕活動
2021.11.09

※詳しくはホームページをご覧ください。

中野孝之助事務所 盛岡市仙北2丁目11-33 (自宅)

電話 019-636-3181 Fax 019-636-0541 携帯 090-7063-6724 HP <http://nakano-kounosuke.com/>

皆様のお声をお聞かせ下さい

この広報は政務活動費により作成しています。

